

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月26日

協議会名: 壬生町地域公共交通会議  
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
壬生タクシー(有)	【事業名】壬生町デマンドタクシーみぶまる運行事業 【運行区域】壬生町全域・ゆうがおパーク(下野市)	「住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。」という評価を受け、 ・住民アンケートを実施し、ニーズ等を調査した。 ・全戸配布でデマンドタクシーやコミュニティバスの案内を載せた公共交通案内を配布した。 ・運転免許の自主返納者に対し、デマンドタクシーだけでなく、令和6年10月からコミュニティバス利用券の交付も開始した。 ・1市2町(下野市・上三川町・壬生町)のデマンド相互利用登録を継続し、1枚の申込用紙で各市町のデマンド利用登録を可能としている。	A 事業は計画通り適切に実施された。	目標①(登録者数):達成 登録者数目標7,174人/年に対し、8,113人/年であった。 目標②(利用者数):達成 利用者数目標7,326人/年に対し、9,692人/年であった。 目標③(運転免許自主返納事業利用者数):達成 返納者数目標104人/年に対し、126人/年であった。	・1市2町のデマンド相互利用登録は、今後も継続し、高齢者だけでなく幅広い世代に利用いただけるよう努める。 ・広報紙・HP等によるデマンドタクシー事業の積極的な周知を行い、新規利用者の獲得に努める。
壬生観光自動車(有)	【運行日】月～金(土・日・祝日、年末年始運休) 【運行時間】8～16時 1時間/便 【運行本数】1日9便 【運賃】中学生以上300円、小学生100円、未就学児無料			分析:運転免許自主返納事業において配布する利用券について、令和6年10月からコミュニティバス分の利用券も配布を開始したことで申請者数が増加し、利用者が増加したと考えられる。	
みどり交通(有)				目標③(運転免許自主返納事業利用者数):達成 返納者数目標104人/年に対し、126人/年であった。 目標④(町内循環線利用者数):達成 利用者数目標5,400人/年に対し、6,516人/年であった。 目標⑤(壬生高線利用者数):達成 利用者数目標17,765人/年に対し、31,198人/年であった。	
(株)ティ・エイチ・エス	【事業名】壬生町コミュニティバスみぶぶ運行事業 【運行路線】町内循環線、壬生高線 【運行日】町内循環線 360日程度/年 壬生高線 209日程度/年 【運行本数】町内循環線南回り5便、北回り4便 壬生高線 朝4便、夕4便 【運賃】中学生以上200円、小学生・障がい者100円、未就学児無料 回数券・定期券あり			分析:壬生高線については、定期券の利用者も増えており、学校までの足として定着していると考えられる。	・広報紙・HP等によるコミュニティバス事業の積極的な周知を行い、新規利用者の獲得に努める。 ・収入に関しては、今後車体ラッピング広告による営業外収入を導入し、更なる収入に繋げたい。

## 事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和8年1月26日

協議会名:	壬生町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>●壬生町地域公共交通計画の基本的な方針 「住みよい」を支えるまちづくりと連携した移動手段の確保～持続可能な地域公共交通の実現と地域の多様な輸送資源の活用～</p> <p>目標1 町内の主要拠点をつなぐ新たな公共交通ネットワークの形成 目標2 町民に安全で安心な移動を提供するスムーズな公共交通サービスの導入 目標3 町民に行政にもやさしい持続可能な地域公共交通の確保</p> <p>●上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性 本町は、公共交通空白地が多く、町民の移動手段はほとんど自家用車となっている。年々加速する人口減少や高齢化社会において、高齢者を始めとする交通弱者への移動支援の提供は公共交通サービスの喫緊の課題であり、自治体の役割として重要な施策である。</p> <p>また、新たな公共交通として町コミュニティバスみぶーぶの運行により、目標でもある新たな公共交通ネットワークの形成を図るとともに、併せて課題解決のために、既存の事業を今後も継続し社会情勢の状況や利用者のニーズに合わせた公共交通を提供する必要がある。以上のことから、本町の多くを占める公共交通空白地の解消や持続可能な地域公共交通の構築、「住みよい」まちづくりを目指す。</p>

# 令和7年度 壬生町地域公共交通会議（栃木県壬生町） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

## 地域の公共交通等の現況・課題／補助対象系統の位置付け

壬生町は、東武鉄道宇都宮線の4駅を中心に住宅地や商業地が形成されている。本町における公共交通は、鉄道（東武鉄道）のほか、おもちゃのまち駅－獨協医科大学病院を結ぶバス路線及び令和4年度より本格運行となった下野市との広域連携バス「ゆうがおバス」、町が運行するデマンドタクシー“みぶまる”、令和5年2月からコミュニティバス“みぶーぶ”を展開しているが、町民の移動手段のほとんどが自家用車に頼っている状況となっている。東武鉄道駅4駅から離れると、公共交通の利便性が低い地域が広く存在しており、かつ高齢化も顕著にみられる。

補助対象系統となるコミュニティバスとデマンドタクシーは相互に補完しあう関係となり、みぶーぶが拠点間の主要な輸送を担当し、みぶまるがドアトゥドアの細かな輸送ニーズを担当するものとなっている。



## 補助対象系統の需要・現況・課題／活用したデータ

デマンドタクシー：行先のデータを調べると、病院が一番多い。また、夕方は、学校から帰宅する小学生の利用も目立っている。

コミュニティバス：町内循環線においては、東武宇都宮線4駅に接続しており、買い物や通院に利用されている。壬生高線においては、壬生駅に接続しており、主に高校生が通学のために利用している。年々乗車人数が増え、定期券購入者も増加している。

活用しているデータ：デマンドタクシー利用者データ、コミュニティバス乗降調査結果

## 定量的な目標

- ・本町の生活に合った、持続可能な地域公共交通を構築し、交通弱者の支援を図る。
- ・利用者の満足度を高め、多くの方が利用する地域公共交通を目指す。

○デマンドタクシー登録者数、町内利用者数 ○運転免許証の自主返納者の促進 ○コミュニティバス町内循環線及び壬生高線利用者数

## 目標を達成するために行う事業の今年度実施状況／来年度に向けた取組の検討

(1) デマンドタクシー利用促進について

広報誌・HPでの情報提供を行ったが、出前説明会は要望が上らずに行っていない状況である。新規利用者の増加のため、積極的なPR方法について検討する。

(2) 運転免許自主返納の促進について

デマンドタクシーだけでなくコミュニティバス利用券の支給も開始した。デマンドタクシーの利用券利用者は増加しているが、コミュニティバスの利用券利用者が少ないため、乗車してもらえるような仕組みを検討する。

(3) コミュニティバスの利用促進について

町内循環線は、広報誌・HPのほか、時刻表の全戸配布や役場の電子案内板にも時刻表への掲載などを行った。壬生高線は、新入生に対しての定期券案内チラシを作成し、入学前のオリエンテーションで配布した。町内循環線の利用者が少ないため、利用者増に繋がる積極的なPR方法について検討する。

## アピールポイント

【デマンドタクシー「みぶまる」】

- ・公共交通利用促進の取組の一環として、1市2町のデマンド利用登録のワンストップ化を実施。
- ・予約が取れなかった方に対する代替案の提案や、行き予約時に帰り予約の案内など、利用に繋がるような対応に努めている。
- ・予約管理システムとドライバーとの連携が円滑に行えるように、タブレットを運行車両に実装し、リアルタイムで予約状況や運行状況等が反映されるようになっている。

【コミュニティバス「みぶーぶ」】

- ・GTFSデータを整備し、グーグルのほか、各種乗換案内サイトに時刻表が反映されている。

【デマンドタクシー「みぶまる」・コミュニティバス「みぶーぶ」共通】

- ・運転免許自主返納者への支援として、無料券を交付している。高齢者だけという年齢制限を設けず、免許を返納した方すべてを対象。

面積	61.06km <sup>2</sup>
人口（R7.4.1時点）	37,987人
15歳未満	4,177人
65歳以上	11,688人
高齢化率	30%

## 交通計画の計画期間

令和4年4月～

令和9年3月

## 協議会開催状況

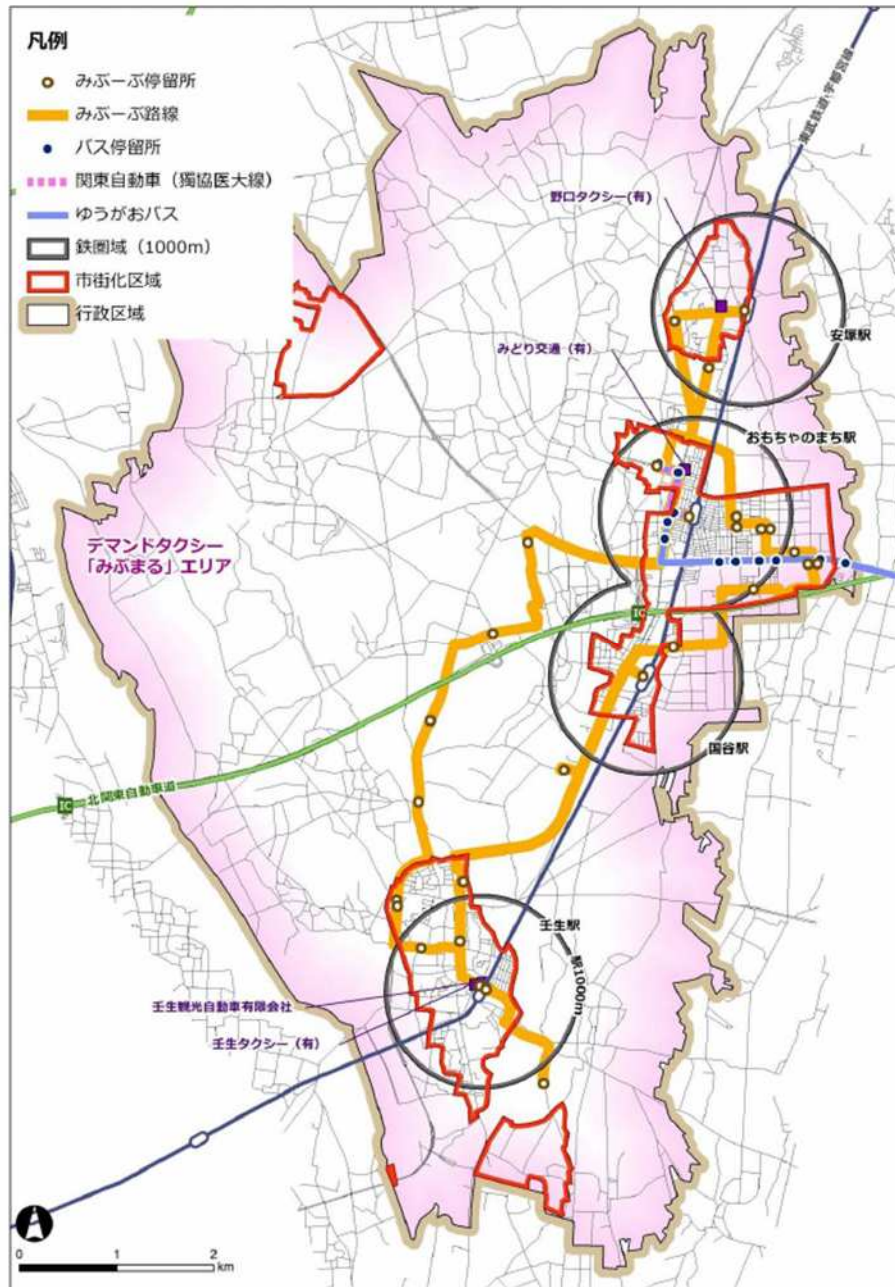
（令和7事業年度に係るもの）

・第1回（令和7年6月16日）  
地域公共交通確保維持事業計画協議  
町公共交通事業の実績報告 等

・第2回（令和7年9月30日）  
次期地域交通計画策定について

・第3回（令和8年1月26日）  
地域公共交通確保維持事業評価  
町コミュニティバス運行変更協議 等

## 壬生町の公共交通体系図

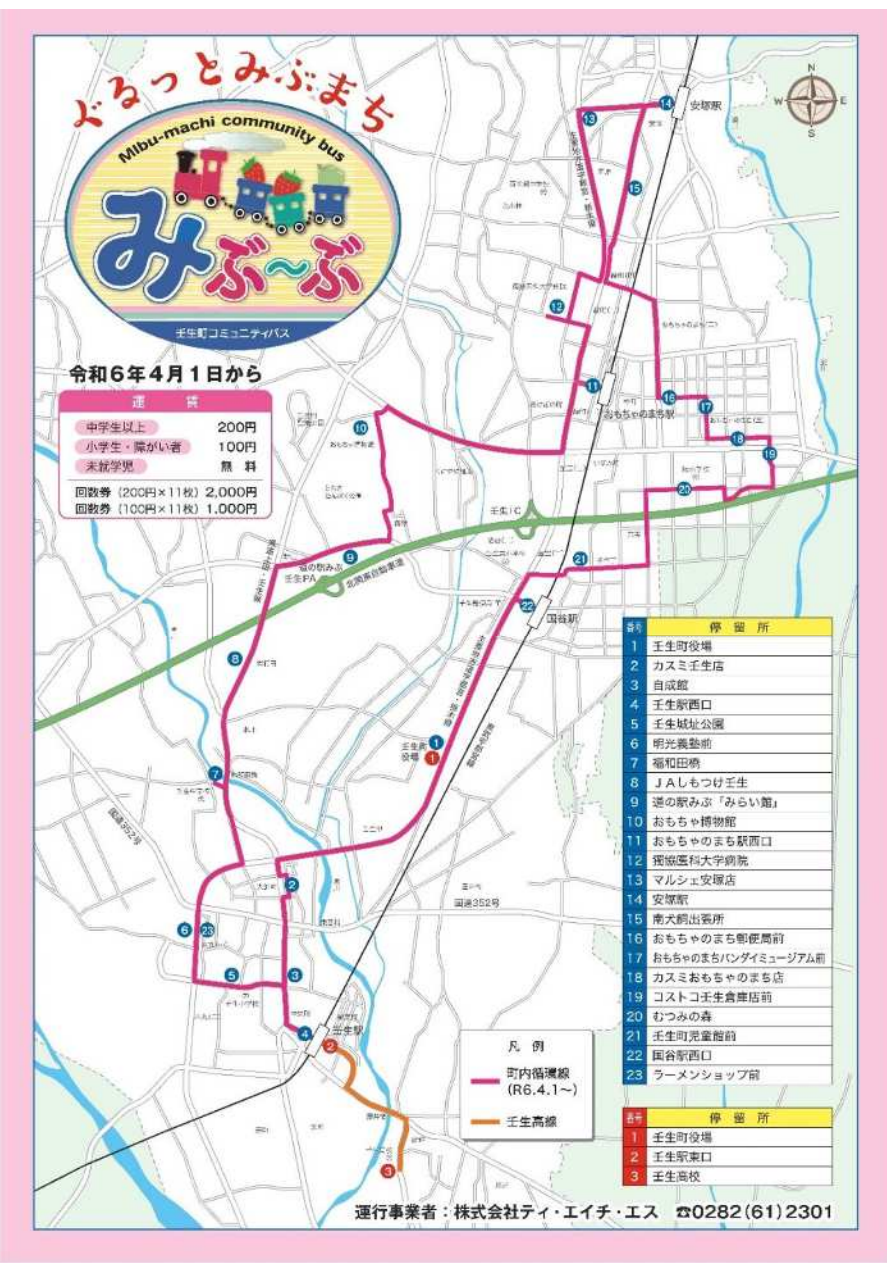


## 補助対象事業の運行区域図(デマンドタクシー)



運行区域: 壬生町全域・ゆうがおパーク(下野市)  
 運行日: 毎週月～金曜日  
 運休日: 土・日・祝日(年未年始12/29～1/3)  
 運行時間: 8～16時 1時間に1便の間隔で運行  
 運行本数: 1日9便(8、9、10、11、12、13、14、15、16時便)  
 運行車両: セダン型タクシー2台  
 運賃: 中学生以上300円 小学生100円 未就学児無料  
 【利用状況(令和6年10月1日～令和7年9月30日)】  
 利用人数: 9,692人  
 運賃収入: 2,335,900円  
 運行費: 16,053,885円  
 収支率: 14.6%

# 補助対象事業の運行系統図(コミュニティバス)



**【町内循環線】**  
 運行日数：360日程度／年  
 運休日：12/29～1/3  
 運行時間：8:40～18:48  
 運行本数：南回り5便、北回り4便  
 運行車両：14人乗りワゴンタイプ  
 運賃：中学生以上 200円  
       小学生・障がい者 100円  
       未就学児無料  
       回数券あり  
**【利用状況(令和6年10月1日～令和7年9月30日)】**  
 利用人数：6,516人  
 運賃収入：1,066,600円

**【壬生高線】**  
 運行日数：209日程度／年  
 運休日：土日祝日及び壬生高等学校長期休業期間  
 運行時間：7:35～18:25  
 運行本数：朝4便、夕4便  
 運行車両：74人乗り大型バス  
 運賃：中学生以上 200円  
       小学生・障がい者 100円  
       未就学児無料  
       回数券・定期券あり  
**【利用状況(令和6年10月1日～令和7年9月30日)】**  
 利用人数：壬生高線 31,198人  
 運賃収入：5,879,300円

収支率(全体)：約11.7%